

ハンケイ

5^m

VOL.
17

FEATURE

Wheelchair cafe SPRING

株式会社アドナース

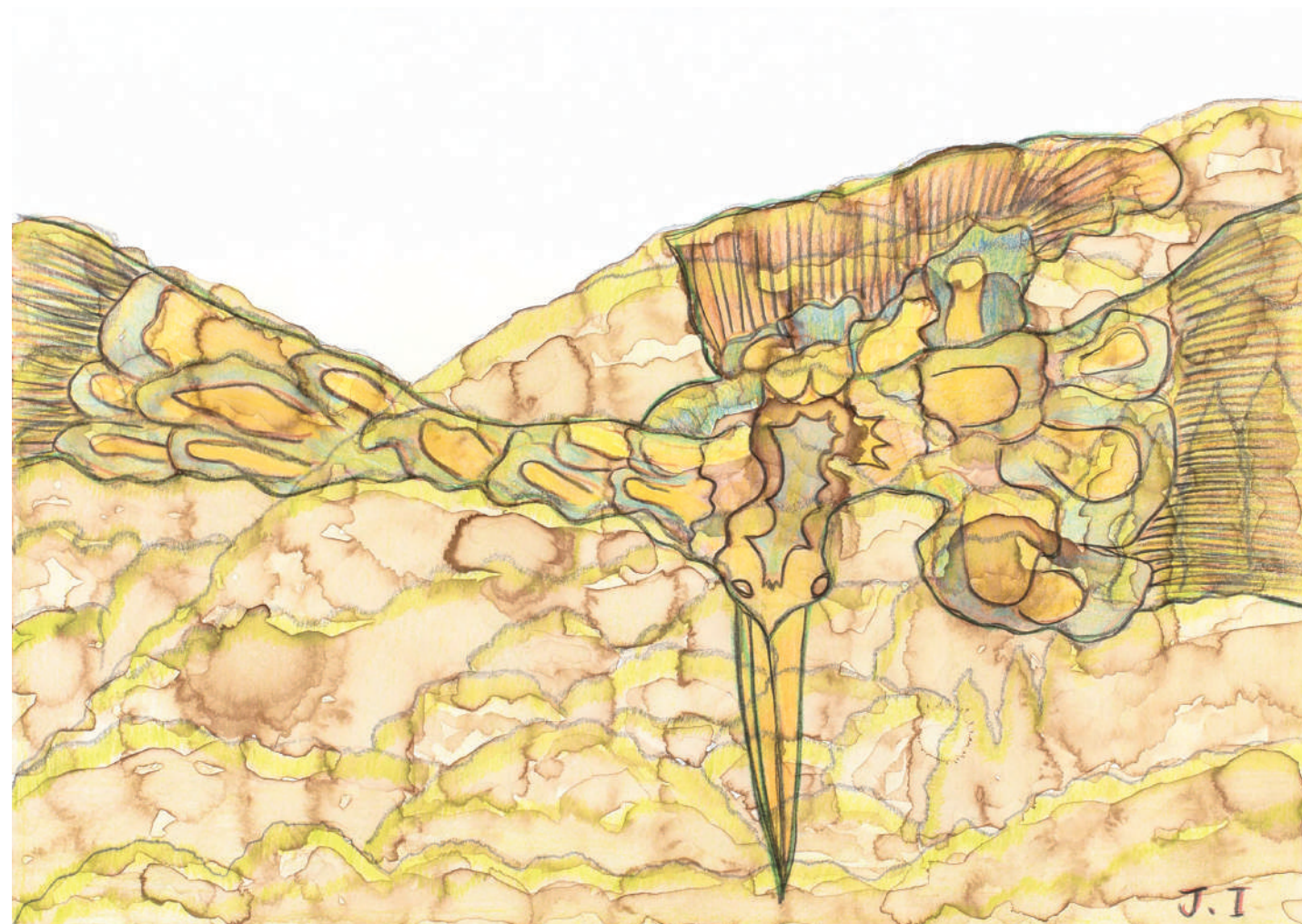
中村敦美さん 鎌田智広さん

ikitoko+ikoプロジェクト

株式会社アドナース
ハンケイ5m

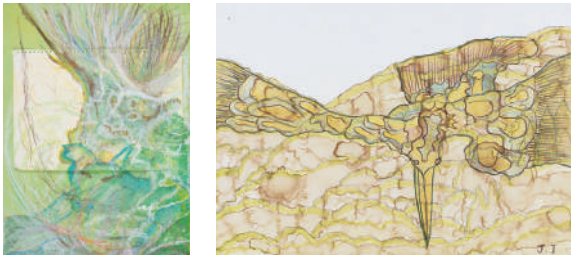
和 문화おもてなし隊 ハイヒール・フラミンゴ

手をのばせばすぐふれられる。そんな世界を知るマガジン



× union.a

COVER ART OF HANKEI5m
今号の表紙アート



いのうえじゅんこ
ヴィレッジれん 井上順子さんの作品

今号の表紙アートは、京都府亀岡市にある就労支援・生活訓練施設「ヴィレッジれん」に通う、井上順子さんの作品です。

「自然への感謝の気持ちを表現したい」という思いで作品を創作している井上さん。施設のある南丹地域の豊かな野山や田畑の景色からモチーフを着想し、日々新たな表現のスタイルを模索しています。表紙に掲載している作品は、2025年の夏から描き始めたシリーズのひとつ。施設の近くでキツネを見かけたことがきっかけとなり、山にいたる生き物たちへ思いを馳せながら創作されているそうです。切り離されたノートの紙をはみ出すダイナミックな構図が、自然の大きさを感じさせます。山を生きる生き物たちが重なり合うように、力強い線で、躍動感たっぷりに描かれています。

黄金色の稜線が印象的な裏表紙の作品。目を凝らすと、翼を広げた鳥や、魚の鱗、尾ビレのようなモチーフが浮かびあがります。風景に多様な生き物の息遣いを見る。そんな井上さんならではの、自然に対する眼差しが表現されています。

井上さんの作品は、1月7日(水)から4月5日(日)まで開催されるart space co-jinの企画展「Co-jin Collection -コジコレ- No.9 心象と風景」にも出展されます。(12ページ参照)ぜひご覧ください。(画像提供:art space co-jin)

art space co-jin
https://co-jin.jp/



ハンケイ5m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

vol.17

CONTENTS

表2 …… ハンケイ5mの接遇茶道研修

FEATURE 1

02 …… Wheelchair cafe SPRING

中村敦美さん

株式会社アドナース

鎌田智広さん

FEATURE 2

06 …… ikitoko+iko プロジェクト

株式会社アドナース ハンケイ5m
和文化おもてなし隊

NPO法人ハイヒール・フラミンゴ

10 …… 俊朗の映画話
薬剤師 DJ の音楽論

11 …… ホホホのすすめ
人形つかいパベの話

12 …… PICK UP NEWS
私が半径5m で見つけたおすすめスイーツ

13 …… ハンケイ5m vol.17 発行にあたり
RECOMMENDED CINEMA

配慮を重ね、
相手を思いやる。
福祉やビジネスにつながる、
茶道の心。



ハンケイ5mの接遇茶道研修
講師の茶道裏千家準教授
田中賀鶴代さん
シヨップ「ハンケイ5m」
プロデューサー 辰尾佳音さん

京都経済の中心地、烏丸四条。株式会社アドナースが運営するシヨップ「ハンケイ5m」では訪問看護・介護の心遣いを深めるための「接遇茶道研修」が開かれている。講師を務めるのは、茶道裏千家準教授の田中賀鶴代さん。

田中さんは茶道と福祉の両方に精通し、和文化の発信のほか、椅子に座ったままお茶を楽しめるように工夫する取り組みなどに長年関わってきた。そんな経験を踏まえ、茶道と福祉の共通点について田中さんは、こう説明する。

「茶道は、一服のお茶をお客さまにおいしく召し上がっていただくために、お菓子やお茶碗、お軸をどうするか、心を砕いて考えます。これを福祉に置き換えると、利用者さんの立場と気持ちを理解して、最善のサポートに取り組むということになります。つまり、個別のニーズに合わせて細やかに配慮を重ね、相手を思いやるという気持ち、それは茶道にも福祉にも共通してい

るのです」。

さらに「相手を思いやる気持ちは、ビジネスにおいても通用します」と田中さんは付け加える。茶道と福祉に通じる心構えは、名刺の受け取り方や会話の仕方など、ビジネスの現場でも有効だという。

福祉やビジネスに通じると知って茶道を習いたいと思っても、一般の茶道教室は敷居が高いと思われがちだ。しかし、田中さんは「ハンケイ5m シヨップでの研修は気兼ねなく、お稽古に取り組んでいただけます」と話す。研修では「盆略点前」というお点前に取り組む。テーブルでもできる正式なもてなしで、茶の間でも洋式の部屋でも、手軽にお茶が点えられるように工夫された。「明治時代に京都で初めて万国博覧会が開かれた時、正座が苦手な外国人をもてなすために生まれた作法です。無理なく茶道の心得を身につけることができます」と説明する。

研修は、アドナース社員で田中さんの弟

子の辰尾佳音さんも一緒に携わる。田中さんは「辰尾さんはいずれすべてを担う若い力。期待で胸がおどります」と笑顔で話す。辰尾さんは大学2年の頃に田中さんと出会い、茶道を始めた。「ビジネスと茶道」のテーマで卒業論文を記し、アドナースに入社。2025年夏の大阪・関西万博では、「車いすでもおしゃれを楽しむ」をコンセプトに開かれたファッションショー&プレゼンにプロデューサーとして携わった。辰尾さんは「アドナースの取り組みを知ってもうために、SNSやラジオでの発信などにもさらに力を入れていきたい」と意気込む。

「和文化のよさが見直されている中、茶道の習慣は特別なものではなく、普段の生活の所作に生きているということに、多くの方々が気付いています」と田中さん。そして「接遇茶道研修は日々のさまざまな場面に役立つ研修です。あらゆる業種の方々に体験していただきたいと思います」と展望を話した。

接遇茶道研修は、
シヨップ「ハンケイ5m」で
受講可能！



研修の
詳細はこちら



研修に使っているテキスト
「訪問看護おもてなし
接遇マインドブック」

ハンケイ5m

京都市下京区烏丸通四条下ル からすま京都ホテル内1F(京都市営地下鉄「四条駅」南出口6番 徒歩1分) / OPEN 水・木・金 13時～18時 / TEL. 080-8500-8236 / 運営:株式会社アドナース

※臨時休業は、Instagramでお知らせします。
※オープンの日は、いつでも茶道体験が可能です。



ハンケイ5m Instagram

イベント情報は
こちらから



ハンケイ5m公式HP

お店の情報は
こちらをチェック！

京都のコミュニティFM・京都三条カフェラジオにて毎週月曜日11時から放送中の「あつまれ！ハンケイ5m」。ハンケイ5mに関わる人をゲストに招き、楽しいトークを繰り広げています。直近の放送回のゲストは、カメラマンの津川絵美さんです。ぜひご聴取ください！



「あつまれ！ハンケイ5m」

【放送日時】毎週月曜 11:00～11:06 / FM79.7MHz 京都三条ラジオカフェ



過去の放送は
京都三条ラジオカフェの
ホームページから

無料ラジオアプリ
「Listen Radio(リスラジ)」で、
聴取可能です！



株式会社アドナース
代表取締役・看護師
鎌田智広さん

Wheelchair cafe SPRING
代表取締役
中村敦美さん

伏見稲荷にあるバリアフリーカフェ

「Wheelchair cafe SPRING」

全席「車いす」のカフェに秘められた、京都の新しい希望。

京都の人気観光地・伏見稲荷大社の近くにあるバリアフリーカフェ「Wheelchair cafe SPRING」。一見普通のカフェだが、テーブルの周囲にあるのは四脚の椅子ではなく、車いすだ。障害のない人が車いすに座ってもいい。車いすの人が来店したら、置いてある車いすは畳んでよけて、自分の車いすでそのままテーブルへ。テーブルの脚は、車輪がぶつからないデザインで車いすの人も使いやすい。「Wheelchair cafe SPRING」を始めた中村敦美さんと、このたび経営に参画することを決めた鎌田智広さんに話を聞いた。

介護、障害児の育児経験から起業

「Wheelchair cafe SPRING」を運営するのは、京都で障害がある人や高齢の人のための旅行



サービスを展開する、サポートだ。代表取締役である中村敦美さんは、かつてはウェディングドレスのデザイナー。ユニークな経歴の持ち主だ。「結婚をきっかけに関節リウマチの義母の介護を担うことになりました。2000年前後は介護保険制度が始まる過渡期で、最初は一人で介護していましたが、ヘルパーさんのサポートが付き、肉体的にも精神的にも劇的に楽になったんです。その時に『介護は人の

手を借りないといけない』と実感しました。その後、中村さんの二女がダウン症で、重度の知的障害、自閉症スペクトラムという障害があるとわかる。2歳になった頃から育児の負担が大きくなった。そこで保健所に相談し、保健師さんのサポートを得て、落ち着くことができた。

「その時に『介護だけでなく、子育てでも人の手を借りないといけない』と実感しました。そして、中村さんは求職活動を始め。しかし障害がある子がいると、雇用されて時間単位での勤務が難しい。しかし、そこであきらめないのが中村さんのバイタリティだ。

「私は障害があつたり介護が必要だったりする方たちの不便を、誰よりも理解している。そして、何が必要なのか、その援助や社会保障も熟知している。これらは私の強み。だったら、自分の強みを活かして起業しようかと考えたんです」。2013年、中村さんは、まず家事代行サービス業として、「サポートどれみ」を起業した。

車いすでもランチしやすい店を

「二女が大きくなるにつれて、走り回ることも増えた。たまたま旅行先で車いすを借りたところ、思いのほか楽に

なったことがあった。「京都で車いすのレンタルがあれば、障害のある人だけでなく、観光客も助かる。需要は絶対にある」と考えた中村さん。2018年に障害がある人や高齢者を積極的に受け入れる「バリアフリーツーリズム京都」という旅行事業を始めた。

「実際に車いすの利用者の方と一緒に、京都を観光すると、それまで気づかなかった不便がたくさん見えてきます。」

飲食店の場合、車いすが2台程度なら入れる店はあった。しかし、車いす仲間と旅に出たとき、3〜4台での利用となるとホテル以外に店が見つからない。

「みんなでカジュアルにランチを食べたい」という希望が、車いすに乗っているとかなえられない。京都つて観光客が多くて飲食店もたくさんあるのに、行き届いていないところもある！」と中村さんの言葉に熱が込める。

そこで「京都にみんなが車いすで行ける飲食店を、自分で作ろう」と決意。中村さんは2023年にバリアフリーカフェ「Wheelchair cafe SPRING」を開業した。

障害のある人が働くカフェに注目

「Wheelchair cafe S

場から、知識の大切さを訴える。

「京都は古い街ですからバリアフリーにできない施設も多い。でも世界を見るとロンドンやマドリードも古い街であることは変わらないのに、車いすの人も街歩きができる。その違いはそこに住む人の障害への知識の違いだと思いました。」

概して日本人は控えめな性格で「知らないことには手を出さない」人が多い。中村さんは「Wheelchair cafe SPRING」で、障害のない人も実際に車いすを体験して、操作方法や困りごとの知識を養ってほしいと話す。

「家族4人で来られた車いすのおじいちゃんのお客さまが『全員車いすで、

PRING」の考え方に共鳴したのは、訪問看護・介護、障害児通所支援事業を手掛ける株式会社アドナースの代表取締役、鎌田智広さんだ。数十年前よりもバリアフリーカフェは増えてきたけれど、と前置きして鎌田さんは続ける。

「考えてみると、僕たちも車いすの人たちとグループ行動する時がある。そんなとき、全員が車いすで食事できるカフェって確かにないなと。Wheelchair cafe SPRINGの実践に気づきました。」

鎌田さんは、カフェという開かれた場のもつ可能性に注目している。2014年から、アドナースは事務所の近くにある認知症カフェ「洛西おれんじカフェ」の開設支援と運営に関わってきた。認知症カフェとは、認知症の人やその家族・知人、地域住民、医療や介護・福祉の専門職などが気軽に集まり、交流を楽しみ、情報を得たり相談したりする場だ。

「僕は、地域の中のコミュニティーの場としてカフェを運営しています。そこから『障害がある人を雇用し、働く場を創出していく』という考え方にも触れて、カフェの可能性について考えるようになったんです」と鎌田さん。そんなとき、「Wheelchair cafe SPRING」の「働く場所」として

同じやからうれしいわ」と、家族に操作方法を教えていました。『サポートを受ける』『サポートをする』という立場が入れ替わるのも、全席が車いすならではのカフェだからと思っっています」と中村さんは目を輝かせる。

一方、鎌田さんは就労継続支援B型事業所での働き手の「表情」に注目する。

「実際にカフェに来てもらえればわかるんですが、お店で働いている利用者さんたちがみんな、すごく楽しそうなんですよね」と鎌田さん。実は、「Wheelchair cafe SPRING」で出すのはB型事業所利用者さんと一緒に調理ができるメニューばかりだ。京都の樽作りの味噌と、京

の機能も知り、深く共感したそう。

アドナースの主事業は訪問看護や介護など、当事者の自宅など生活の場に「入っていく」形だ。しかし、カフェは仕事をする場に「当事者に出てきてもらう」形で関わることができ。就労継続支援B型事業所として、「Wh

都産の規格外野菜を使った、生みそインスタント味噌汁「味噌玉みそぼん」をはじめ、「おむすびサンド」や京都らしい抹茶パフェ。管理栄養士が監修する嚥下食（要予約）まで、味にもこだわったメニューを提供する。

「利用者さんがいきいきとしている様子が本当にいい。働く場所が楽しいって、最高じゃないですか」と鎌田さんは笑う。

中村さんは答える。「利用者さんの個性に応じて『本当にこころでしたいこと』を仕事にできるといいなと思っています。描いた絵が大人気になり、苦手意識が吹っ飛んだ人もいます。今ここでは12人が働いていますが、一人ひとりがこのカフェで成

eelchair cafe SPRING」に鎌田さんは期待をもち、2025年に参画を決めた。

障害への知識と感性を高める場

中村さんは、バリアフリー観光の立

功体験を作ってくれるのが一番の理想です。」

「Wheelchair cafe SPRING」を訪れたあと、編集部にも変化があった。街に車いすの人がいるのをよく見かけるようになった。すなわち、車いすカフェを訪れたことで、感性が上がり、今まで見過ごしていた存在に、気づけるようになったのだ。

車いすの人にとって便利だけでなく、障害のない人の意識を変える可能性を秘めた「Wheelchair cafe SPRING」。中村さんと鎌田さんが一緒に組むことで、車いすを起点にした新しい風景、観光事業が、京都の日常に広がっていくのだらう。



Wheelchair cafe SPRING

〒605-0981 京都市東山区本町22丁目516
カントリーペアIF



大阪・関西万博に「株式会社アドナースハンケイ5m 和文化おもてなし隊」が登場！

「#すわりコーデ®」を世界に発信、着物ファッションショーも

大阪市此花区の夢洲で開催された2025年国際博覧会（大阪・関西万博）。期間中に累計2901万7924人の総来場者を集めたこの世界的なイベントに、座った状態でのおしゃれを提案する「#すわりコーデ®」の普及に取り組む「株式会社アドナースハンケイ5m 和文化おもてなし隊」（以下…和文化おもてなし隊）が参加し、8月24日に万博会場内のフェスティバル・ステーションで特別イベントを開催した。

今回の特別イベントは「行けるところではなく、行きたいところへ行こうく綺麗をあきらめないく」をコンセプトに、「和文化おもてなし隊」と女性義足ユーザーのコミュニティを運営するNPO法人「ハイヒール・フラミンゴ」（大阪府大東市）がコラボレーションして実現した。

オープニングはサックス奏者の武井

努さんらによる演奏で華々しく始まった。

注目を集めたのは、やはり「#すわりコーデ®」だ。「#すわりコーデ®」についてプレゼンテーションしたのは、「#すわりコーデ®」発案者で「和文化おもてなし隊」の加藤千明さん。それを英語で観客に伝えたのは、ハンケイ5mプロデューサー・辰尾佳音さんだ。

「#すわりコーデ®」ができたきっかけは、ロングコートに憧れていた加藤さんが、車いすではタイヤに裾が絡まってしまうため、思い切ってハサミでカットして短くしたことだった。そのスタイルを見た、車いすユーザーで加藤さんの友人の故・石寄麻南末さんが、「自分らしくいいね！」と賛同。二人は、車いすユーザーにとどまらず、事務仕事や授業などで座る時間が長い人たちにすべてに向け、「座った時にも快適で、おしゃれに見えるコーデイネット」を思い描いた。そんな矢先に、麻南末さんが突然の事故で急逝。

プレゼンテーションで、加藤さんはその経緯に触れ、「彼女と一緒に描いた未来を、かたちにしたい。その想いが、『#すわりコーデ®』の原点です」と語った。当初は「車いすコーデ」と名付けようと考えていた加藤



さん。しかし、「車いすユーザーだけでなく、誰にとっても、座っている時間が日常の暮らしの中で最も長いのではないか」と気づいた。そこで皆に身近な言葉である「座り」を選び、「#すわりコーデ®」と名付けたそう。

加藤さんは「#すわりコーデ®」が、自分らしく輝ける服のあり方を、社会全体で問い直すきっかけになればと思います。あなたが次に服を選ぶ時に『座っている自分にも似合うかな?』と、想像してほしい。それだけでとても嬉しいです」と来場者に呼びかけ、大きな拍手が起こった。

「#すわりコーデ®」を知らない人たちに、わかりやすく思いを伝えることの難しさを体感しました。でも、その困難を乗り越えた先に、本当に私たちが伝えたいことを披露できたと思います」と振り返る。

続いてステージを彩ったのが、和装で「#すわりコーデ®」を楽しむ艶やかな着物のファッションショーだ。加藤千明さんは着物ドレスを、辰尾佳音さんは簡単に着られる振袖を、それぞれステージ上で着付けるとい、ライブパフォーマンスを披露。訪問介護・看護事業で知られるアドナースの利用児の方をはじめ、小学生から50代後半までの14人がモデルを務めた。ステージ中央のいすで、モデルは「#すわりコーデ®」を披露した。

そして、後半は「ハイヒール・フラミンゴ」を知らない人たちに、わかりやすく思いを伝えることの難しさを体感しました。でも、その困難を乗り越えた先に、本当に私たちが伝えたいことを披露できたと思います」と振り返る。

「#すわりコーデ®」を知らない人たちに、わかりやすく思いを伝えることの難しさを体感しました。でも、その困難を乗り越えた先に、本当に私たちが伝えたいことを披露できたと思います」と振り返る。

「#すわりコーデ®」を知らない人たちに、わかりやすく思いを伝えることの難しさを体感しました。でも、その困難を乗り越えた先に、本当に私たちが伝えたいことを披露できたと思います」と振り返る。



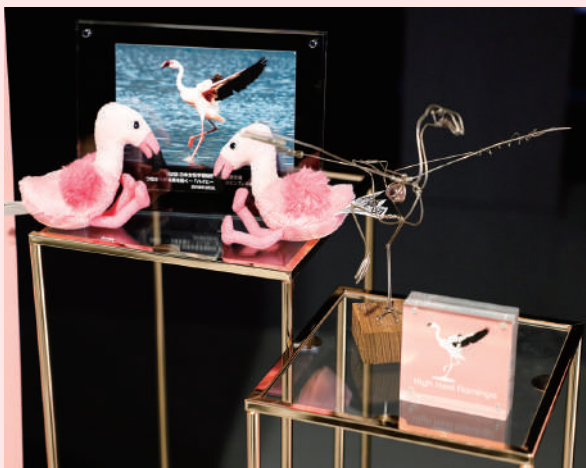
NPO法人
ハイヒール・フラミンゴ 代表
野間 麻子さん



株式会社アドナース ハンケイ5m
和文化おもてなし隊 顧問
田中 賀鶴代さん



「ハンケイ5m」
プロデューサー
辰尾 佳音さん



俊朗の映画話

年間100本映画を見る
俳優・福山俊朗の映画コラム



福山 俊朗

神戸大学在学中に劇団そとばこまちに入団、15年間に在籍しフリーに。舞台・テレビ・映画に多数出演。FMラジオのDJ、歌のお兄さん、映画監督などマルチに活躍中。

学生の一人が、昇進の近い哲学科の女性教授にこう言います。

「今のこ時世なら先生は大丈夫でしょう。現在の目下の嫌われ者はストリートの白人男性ですから」

女性やトランスジェンダーなど一昔前に迫害を受けていた人たちは逆に今は優遇されていると、この学生が本気で言っているのか、SNSで飛び交うような誹謗中傷や皮肉の類で言っているのか、定かではありません。そしてこの映画の主題もそこにはありません。この会話は単純に世間話のワンエピソードなのです。

しかしこの学生の真意はどうあれ、この発言自体かなり危険なことのような気がしました。マイノリティが公平に扱われることは望ましいことです。そういう社会を目指していくべきだと思います。しかしあるグループ（そのカテゴライズ自体ナンセンスですが）が「優遇」されて、あるグループが「冷遇」されるといのは、結局同じことの繰り返しで

はないでしょうか。

この監督はLGBTQ+を真正面から描いた映画もたくさん作っており、この種類の話には理解が深く意識が高い人だと推察できます。その人が登場人物にこのセリフを言わせるというのは、何か深い意図があるような気がしてなりません。

哲学的な言葉も多く語られるこの映画は、人の愛やそこから生まれる悪意など、人間の奥深い業のようなものを描いています。一筋縄ではない作品でした。



アフター・ザ・ハント

2025 / アメリカ・イタリア
監督:ルカ・グァダニーノ
出演:ジュリア・ロバーツ
アンドリュー・ガーフィールド
©Amazon MGM Studios

ホホホのすすめ

ホホホ座座長・山下賢二が
語るおすすめブックス談



山下 賢二

出版社勤務や書店員などを経験し、2004年に「ガケ書房」を開業。2015年移転・改名し、本もお土産というコンセプトの店「ホホホ座浄土寺店」をオープン。

これまで世界中で無数のカップルが誕生してきた。そして、同じ数だけ破綻してきた。

今回紹介する短編集『ヴァレンタインズ』はその甘いタイトルの先に必ず待っているような中年カップルたちの心のすれ違いを描いた十二例。各章は一月から十二月という構成になっており、その季節の中でそれぞれ起こる数奇な出来事が二人の人生にひびを入れる。

多く登場するのは、問題意識を相手に抱えているアクティブな妻とそのことへの対応に失敗する社会的信用がある夫。子どもも成長し、これからまた二人だけの生活に戻ってともに歩んでいこうとするときに表出、または再燃する問題。まるでそうなることが約束されていたかのように男女は心を軋ませる。

例えば、ある夫婦の二月。二週間前、夫の浮気が発覚し、カウンセラーの進言もあり、妻の提案で田舎にやり直しのドライブをする二人。そ



ヴァレンタインズ
オラフ・オラフソン 著
岩本正恵 訳
(白水社)
2,640円(税込)

薬剤師DJの音楽論

ゆう薬局の薬剤師による
イチオシ音楽紹介



船戸 一晴（キャッチー船戸）

ゆう薬局の薬剤師、ラジオパーソナリティ、DJ。FMたんご：みゅ〜じゅっくばふえCatching(水曜12時〜)。FMまいづる、Radio Mix Kyoto:Premium Kyoto(月曜16時〜)。

2025年10月、ディアンジェロがこの世を去りました。ネオソウルの象徴でありながら、彼の歩みは常に「静かな反逆」のようでした。訃報に触れたとき、長い沈黙とともに存在し続けた彼の独特のグルーヴが思い出され、胸が締めつけられました。

1995年の『Brown Sugar』、そして2000年の『Voodoo』で彼が生み出した、正確性をあえて少し逸脱した「揺れるリズム」、いわゆる「ビューマン・グルーヴ」は、その後のR&B、ヒップホップ、さらにはポップ全体の時間感覚を塗り替えました。J・ディラのビートと呼応するあの「わずかなズレ」は、ブラックミュージックに新しい色気と人間味をもたらし、現代のポップスにも静かに届いています。その代表例のひとつが、日本のポップシーンにおける星野源さんの作品。『POP VIRUS』以降の柔らかなビートや、機械的な正確さより「身体感覚」を重視したグルーヴに



Voodoo
D'Angelo (Virgin)

は、ディアンジェロのソウルクエリアンズ以降の感覚が息づいています。一方で、「Untitled (How Does It Feel)」のセンチシヨナルな映像の裏では、黒人男性の身体がどのように消費されるかという視線が本人を傷つけていきました。レーベルとの確執、依存、事故——成功と同じだけの痛みが常に彼につきまとったことも忘れてはいけません。ディアンジェロは算作でしたが、だからこそ一作一作が世界を変えました。弱さも迷いも抱えたまま音を磨き続けた人。その静かな闘いを思うと、彼の残した「揺れる時間」が今もさまざまな場所で呼吸していることに深く励まされます。

人形つかいパペの話

最小のキャパで
最高のエンタメを！
人形つかいパペの奮闘記。



人形つかいパペ(佐藤譲)

京都大学卒業後、スタジオジブリに入社。雑誌編集職を経験し、日本テレビへ転職。映画プロデューサーとして活躍後、独立。現在、人形つかいとして、京都を拠点に活動。

なにわ人形芝居フェスティバルに参加してきました。阪神淡路大震災の翌年から「子どもたちに笑顔届けたい！」という願いから始まった人形劇の祭典。国内外のプロの人形劇団が集うイベントで、人形劇に興味を持つてから毎年観劇してきましたが、今回はブレイヤーとして初参加です。

私が演じる会場はフェスの中心となる一心寺の境内。人形劇の道具とともに車 toward、マイクやスピーカーの設置をして、いざ本番。たった一人で、誰も知らない場所を訪れて演じるのは、毎度「よくこんな勇氣が出るなあ……」と不思議に思いますが、さらに今回は私にとって初の野外上演で、道行く人たちを呼び止めて観てもらおう、大道芸のような要素もあり、ドキドキでした。

上演を始めると、観てくれる大阪の子どもたちの反応が一つ一つ面白い。「人形で全部応えるぞー」と思っているが演じていると、子どもたちの



「夕陽丘うえまち写真コンテスト」で受賞した、上原弘士さんの写真作品「元気はつらつ」

後日、嬉しいサプライズがありました。私の人形劇の様子をカメラに収めてくださった方がいて、なんと、その写真がコンテストで受賞されたのです。フェスの事務局から写真を送ってもらい、上演中に余裕がなくて見られなかった子どもたちの表情を、じっくりと見ました。人形劇という表現と出逢えた幸運を、深く噛みしめました。

ハンケイ5m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

vol.17 発行にあたり

新たな出会いから、
見えなかったものが
見えるようになる。
久野泰輝(編集)

困難という出来事を
どう捉えるかは、
その人の価値観・考え方による。
木村実那子(編集)

だれにでも同じようにやさしい。
そんな観光都市に
京都がなれば嬉しい!!!
円城新子(編集)

経験して、気づいたこと。
花の根は土の中にあるからこそ、
やがて大輪を咲かせる。
龍太郎(ライター)

自然への感謝の気持ちを表現されている
井上さんの作品に、
厳しさと力強さと優しさを感じます。
北原靖浩(デザイン)

新しい仲間ができることは
最高に嬉しいことだと
最近感じます。
鎌田智広(スペシャルアドバイザー)

楽しく働き、達成感を得る。
30年求めてきたこと。
今年も叶いますように。。。
辻正美(カメラ)

車椅子の方にやさしい場所は、
たくさん荷物を持ったわたし、
子どもを連れたあなたにも
やさしい場所だなと思います。
福島明彦(校正)

「方法論の正しさにこだわっても、
結果として正しいことにつながれば意味がない」
という言葉を読みました。
本質を見失わないようにして生きていきたい。
呉玲奈(編集)

里山の動植物が一体化し
カミとして立ち現れているようにも見える、
井上さんの表紙画。
自然との共存とは何か深く問うている。
森 華(デザイン)

新しい年、ささやかなことでも
何か始めてみよう。
中山みゆき(編集)

一人ではできないことも、
だれかと一緒にならやり遂げられる。
特集取材でも、
自分の身の回りでもそう感じる最近です。
鈴木穂乃(編集)

Wheelchair cafe SPRINGが
できた経緯に感動しました。
自信の強みを見つめ直し、
苦境を跳ね返していく
中村さんの行動力に脱帽です。
谷口晋作(編集)

ハンケイ5m vol.17

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

2026年1月15日発行

発行 株式会社アドナース
京都市西京区大原野西境谷町2丁目14-10
075-754-6174
株式会社ユニオン・エー
京都市左京区北白川西平井町22-2
075-724-0410

企画・制作 株式会社ユニオン・エー

Staff 円城新子
呉玲奈
中山みゆき 鈴木穂乃 久野泰輝
木村実那子 福島明彦 田代佳世
谷口晋作
龍太郎
辻正美
北原靖浩
もりはなぐみ

スペシャルアドバイザー 鎌田智広

RECOMMENDED CINEMA

京都シネマおすすめ映画



1/23(金)公開
ただ、やるべきことを
해야 할 일 | 2023 | 韓 | 101分
監督: パク・ホンジュン
出演: チャン・ソンボム、
ソ・ソッキュ、キム・ドヨン

©Nareun Cinema/Myung Films Lab.
https://worktodo-film.com/

多くのリストラと廃業が起こった2010年代の韓国での造船業界を舞台に、入社4年目の主人公ジュニがリストラ対象者の名簿を作ることを任せられ、組織の一員として「やるべきこと」、ひとりの人間として「やるべきこと」の間で揺れ動く姿を描いていく。労働映画に新たな角度から迫り、理想と現実のあいだで、もがきながら生きる“わたしたち”の物語として胸に響く一作に。

上映情報のご確認はこちら

京都シネマ www.kyotocinema.jp
●京都市下京区烏丸通四条下ル西側 COCON烏丸3F ☎075-353-4723

アップリンク京都おすすめ映画



2/6(金)公開
禍禍女
2026 | 日 |
監督: ゆりやんレトリィバァ
出演: 南 沙良

配給: K2Pictures
©2026 K2P

2024 年のカンヌ国際映画祭中にカンヌの地で監督デビューが発表され話題になり、日本公開を前に海外映画祭4冠達成という異例の快挙をなすと、既に世界から大きな注目を集めている映画『禍禍女』。プロデューサーは撮影までの約1年間、ゆりやんと頻繁に会って恋バナを聞き続けたという。そんなゆりやんの今までの恋愛の全てが詰め込まれた!?世界を驚かせたゆりやんレトリィバァ初監督作『禍禍女』の全貌がいよいよ明らかになる。

上映情報のご確認はこちら

アップリンク京都 <https://kyoto.uplink.co.jp/>
●京都市中京区烏丸通姉小路下ル場之町586-2 新風館 地下1階 ☎075-600-7890

PICK UP NEWS

TOPIC 1

暮らしを豊かに!

ハンケイ5mでワークショップを開催中!

京都・四条烏丸にある、からすま京都ホテル1階の体験型コンセプトショップ「ハンケイ5m」では、多様なワークショップを実施。本格的な京都和文化体験を短時間で楽しめます。また、ショップの営業時間中はいつでも、茶道体験が可能。お気軽にお立ち寄りください!



ワークショップ① 意匠京念珠板倉

念珠のあまり珠を使った、世界に1つだけのオリジナルネックレスを作れます。



講師: 意匠京念珠板倉 辰尾由佳
定員: 6名 参加費: 11,000円(税込)

ワークショップ② 和の手紙

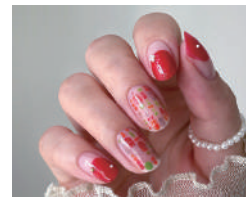
季節の言葉を添えた和紙の挨拶状を作ります。大切な方に送ってみませんか?



講師: 和の手紙つくりの会 師範 森脇嘉奈子
定員: 5名 参加費: 3,300円(税込)

ワークショップ③ nail for all

爪に優しい水性マニキュアや、ネイルチップを使うワークショップを開催します。



講師: nail for all 田中志津
定員: 6名 参加費: 3,300円(税込)~

TOPIC 2

art space co-jin イチオシ! 新年最初の企画展が開催!

Co-jin Collection -コジコレ- No.9「心象と風景」

「京都とっておきの芸術祭」出品作の中から、art space co-jin スタッフが気になる表現を取り上げる企画展「Co-jin Collection -コジコレ-」。9回目となる今回は、「心象と風景」をテーマに、井上順子、DAIZO、野口博司ら3名の作品が展示されます。



【日程】2026年1月7日(水)~4月5日(日) 10:00-18:00 月曜・火曜休館
【会場】art space co-jin
〒602-0853 京都市上京区河原町通荒神口上ル宮垣町83 レ・フレール1階

アドナースpresents 私が半径5mで見つけた

おすすめスイーツ

アドナース
鹿児島事業部 部長
井手 美鈴

今回ご紹介するのは、原製菓舗の「ひとくちげたんは」です。「げたんは」とは鹿児島の方言で「下駄の歯」を意味します。お菓子の形が「下駄の歯」に似ていることから、鹿児島では「げたんは」と言われています。昔から祖母の家に行くとき必ず出てくる懐かしい味。黒糖がたっぷりと染み込んでいて外はカリッと中はふんわりとしたクセになるお菓子です。温かい緑茶との相性もバッチリです。是非味わってみてください。

